

書誌第101号追

本州南・東岸水路誌

追補第6

令和5年（2023）7月14日発行



海上保安庁

本州南・東岸水路誌

追補第6

この追補は、令和2年3月刊行の本州南・東岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和5年6月16日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和5年7月14日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

| ページ | 更新箇所(表題、港名等) | 備考 |
|------|--------------|---------------|
| V | 挿図目次 | |
| VI | 挿図目次 | |
| 12 | AIS信号所 | 追補第5の当該ページは無効 |
| 13 | 水先区 | |
| 54 | 潮岬沖、潮岬沖～都井岬沖 | |
| 88 | 釜石港 | 追補第3の当該ページは無効 |
| 88-1 | 釜石港 | |
| 210 | 横浜区 | 追補第5の当該ページは無効 |
| 212 | 横浜区 | 追補第1の当該ページは無効 |
| 213 | 横浜区 | 追補第1の当該ページは無効 |
| 216 | 横浜区 | 追補第1の当該ページは無効 |

挿 図 目 次

| | | |
|----------|------------------------------|------|
| 第 1 図 | 各地の年平均強風（風速 10m/s 以上）日数..... | 2 |
| 第 2 図 | 台風のも別の主な経路図..... | 3 |
| 第 3 図 | 日本近海の海流模式図..... | 6 |
| 第 4 図 | 黒潮大蛇行パターン図..... | 7 |
| 第 5 図 | 黒潮大蛇行以外のパターン図..... | 7 |
| 第 6 図 | 海上訓練区域図..... | 20 |
| 第 7 図 | サンマ棒受け網漁業漁場概略図..... | 25 |
| 第 8 図 | サンマ棒受け網漁業概略図等..... | 25 |
| 第 9 図 | 機船船引き網漁業概略図..... | 26 |
| 第 10 図 | シイラ漬漁具概略図等..... | 26 |
| 第 11 図 | 東京湾～津軽海峡針路法図..... | 48 |
| 第 12 図 | 伊豆大島西岸沖推薦航路図..... | 53 |
| 第 12-1 図 | 潮岬沖推薦航路図..... | 54 |
| 第 13 図 | 東京湾～豊後水道針路法図..... | 55 |
| 第 14 図 | 東京湾～駿河湾・伊勢湾・潮岬針路法図..... | 56 |
| 第 15 図 | 東京湾～潮岬～大阪湾・伊勢湾～潮岬針路法図..... | 56 |
| 第 16 図 | 東京湾～小笠原群島針路法図..... | 60 |
| 第 17 図 | 大根避険線図..... | 82 |
| 第 18 図 | 釜石湾入港針路法及び浅根避険線図..... | 86 |
| 第 18-1 図 | 釜石港錨泊自肅海域図..... | 88-1 |
| 第 19 図 | 金華山瀬戸針路法及び大根・当り根避険線図..... | 101 |
| 第 20 図 | 東京湾潮流図（その 1）..... | 148 |
| 第 21 図 | 東京湾潮流図（その 2）..... | 149 |
| 第 22 図 | 東京湾（浦賀水道航路・中ノ瀬航路）行先信号図..... | 151 |
| 第 23 図 | 東京沖灯浮標付近海域における経路図..... | 155 |
| 第 24 図 | 東京湾アクアライン東水路付近海域における経路図..... | 155 |
| 第 25 図 | 木更津沖灯浮標付近海域における経路図..... | 156 |
| 第 26 図 | 中ノ瀬西方海域における経路図..... | 156 |
| 第 27 図 | 東京湾口海域における経路図..... | 158 |
| 第 27-2 図 | 東京湾口海域における経路図..... | 159 |
| 第 28 図 | 東京湾海上交通センターからの情報聴取義務海域図..... | 161 |
| 第 28-2 図 | 入域通報指定海域図..... | 162 |
| 第 28-3 図 | 指定海域及び指定港図..... | 163 |
| 第 29 図 | 東京湾航法参考図..... | 165 |
| 第 30 図 | 緊急用えい索例図..... | 167 |
| 第 31 図 | 東京湾北部海域における航行経路図..... | 169 |
| 第 32 図 | 東京湾における走錨事故防止対策海域..... | 170 |

| | | |
|--------|--------------------------------------|-----|
| 第 33 図 | 千葉港における情報聴取義務海域図..... | 183 |
| 第 34 図 | 京浜港東京区進路表示信号図..... | 190 |
| 第 35 図 | 京浜港東京区における情報聴取義務海域図..... | 193 |
| 第 36 図 | 錨泊制限海域図 | 197 |
| 第 37 図 | 京浜港横浜区進路表示信号図..... | 203 |
| 第 38 図 | 京浜港川崎区進路表示信号図..... | 204 |
| 第 39 図 | 京浜運河参考図 | 204 |
| 第 40 図 | 京浜港（横浜区・川崎区）における情報聴取義務海域図..... | 208 |
| 第 41 図 | 京浜港（横浜区・川崎区）における錨地図..... | 212 |
| 第 42 図 | 京浜港（横浜区・川崎区）走錨対策強化海域..... | 218 |
| 第 43 図 | 横須賀港米軍施設水域図..... | 223 |
| 第 44 図 | 石廊崎付近針路法図 | 236 |
| 第 45 図 | 伊勢湾潮流図（北西流） | 261 |
| 第 46 図 | 伊勢湾潮流図（南東流） | 262 |
| 第 47 図 | 伊勢湾行先信号図 | 264 |
| 第 48 図 | 伊良湖水道航路出入口付近における経路図..... | 266 |
| 第 49 図 | 伊勢湾海上交通センターからの情報聴取義務海域図..... | 267 |
| 第 50 図 | 伊勢湾位置通報ライン図..... | 271 |
| 第 51 図 | 中山水道・師崎水道針路法図..... | 275 |
| 第 52 図 | 知多湾港外自主規制錨地及び錨泊自粛海域図..... | 284 |
| 第 53 図 | 伊勢湾における航法図 | 287 |
| 第 54 図 | 名古屋港進路表示信号図..... | 294 |
| 第 55 図 | 名古屋港海上交通センターからの情報聴取義務海域図..... | 302 |
| 第 56 図 | 名古屋港海上交通センターの情報提供可能海域及び位置通報ライン図..... | 305 |
| 第 57 図 | 伊勢湾北部海域錨泊自粛海域図..... | 306 |
| 第 58 図 | 四日市港進路表示信号図..... | 313 |
| 第 59 図 | 桃取水道・加布良古水道・菅島水道針路法図..... | 324 |
| 第 60 図 | 布施田水道針路法図 | 328 |
| 第 61 図 | ツクシ及び波カブリ避険線図..... | 333 |
| 第 62 図 | 甲浦港入港針路法図 | 362 |
| 第 63 図 | ツボイシ碇その他の避険線図..... | 371 |
| 第 64 図 | 須崎港入港針路法図 | 373 |
| 第 65 図 | 清水港入港針路法図 | 379 |

AIS 信号所 船舶の AIS (Automatic Identification System: 船舶自動識別システム) 受信機又は AIS 重量表示が可能なレーダや ECDIS (Electronic Chart Display and Information System: 電子海図表示システム) 画面上に航行船舶の指標となる航路標識のシンボルマーク等を示すための電波を発射する施設のこと。種別には、既存の航路標識に AIS 局を併置した「Real」と実際には存在しない航路標識をレーダ等に表示させる「Virtual」がある。本誌記載区域内には、次の 25 AIS 信号所がある。

5

| AIS 信号所名 | 位 置 | 種 別 | 備 考 |
|------------------|--------------------------|---------|----------------------|
| 久慈港沖海洋観測施設 | 40° 13.5' N 142° 00.8' E | Real | 久慈港沖海洋観測施設灯に併置 |
| 東京湾口第 1 号 | 35° 05.8' N 139° 44.5' E | Virtual | 東京湾海上交通センター管理 |
| 東京湾口第 2 号 | 35° 08.1' N 139° 45.2' E | Virtual | 東京湾海上交通センター管理 |
| 東京湾口第 3 号 | 35° 10.4' N 139° 45.9' E | Virtual | 東京湾海上交通センター管理 |
| 東京西航路第 6 号 | 35° 34.8' N 139° 48.1' E | Virtual | 東京湾海上交通センター管理 |
| 京浜川崎シーバース | 35° 28.0' N 139° 46.1' E | Real | |
| 浦賀水道航路中央第 1 号 | 35° 12.7' N 139° 46.6' E | Real | 浦賀水道航路中央第 1 号灯浮標に併置 |
| 伊豆大島西岸沖推薦航路北 | 34° 48.0' N 139° 17.0' E | Virtual | 東京湾海上交通センター管理 |
| 伊豆大島西岸沖推薦航路南 | 34° 42.2' N 139° 10.0' E | Virtual | 東京湾海上交通センター管理 |
| 伊良湖水道航路北口東端 | 34° 34.8' N 136° 59.4' E | Virtual | 伊勢湾海上交通センター管理 |
| 伊良湖水道航路南東方 | 34° 32.4' N 137° 01.8' E | Real | 伊勢湾第 2 号灯浮標に併置 |
| 中山水道開発保全航路第 1 号 | 34° 37.7' N 136° 58.6' E | Real | 中山水道開発保全航路第 1 号灯標に併置 |
| 四日市港昭和四日市石油シーバース | 34° 55.8' N 136° 42.2' E | Real | |
| 梶取埼南東方浮魚礁施設 | 33° 30.7' N 136° 05.7' E | Real | 梶取埼南東方浮魚礁施設灯に併置 |
| 檜野埼東方浮魚礁施設 | 33° 27.9' N 135° 57.6' E | Real | 檜野埼東方浮魚礁施設灯に併置 |
| 潮岬沖推薦航路東 | 33° 25.9' N 135° 52.5' E | Virtual | 大阪湾海上交通センター管理 |
| 潮岬沖推薦航路西 | 33° 24.3' N 135° 45.3' E | Virtual | 大阪湾海上交通センター管理 |
| 潮岬沖推薦航路南方 | 33° 22.7' N 135° 45.3' E | Virtual | 大阪湾海上交通センター管理 |
| 和深埼南西方浮魚礁施設 | 33° 25.5' N 135° 27.3' E | Real | 和深埼南西方浮魚礁施設灯に併置 |
| 市江埼南西方浮魚礁施設 | 33° 26.3' N 135° 18.3' E | Real | 市江埼南西方浮魚礁施設灯に併置 |
| 見草埼南西方浮魚礁施設 | 33° 27.5' N 135° 07.7' E | Real | 見草埼南西方浮魚礁施設灯に併置 |
| 瀬戸埼南西方浮魚礁施設 | 33° 30.3' N 135° 05.3' E | Real | 瀬戸埼南西方浮魚礁施設灯に併置 |
| 土佐黒潮牧場 18 号施設 | 32° 29.1' N 133° 12.1' E | Real | 土佐黒潮牧場 18 号施設灯に併置 |
| 土佐黒潮牧場 20 号施設 | 33° 01.0' N 133° 35.0' E | Real | 土佐黒潮牧場 20 号施設灯に併置 |
| 土佐黒潮牧場 21 号施設 | 32° 23.2' N 132° 28.9' E | Real | 土佐黒潮牧場 21 号施設灯に併置 |

第 6 章 水 先

水 先 区

5 水先区とは水先法の適用される区域で、名称及び区域は水先法施行令で定められている（水先法第 33 条、同法施行令第 3 条）。このうち、水先人を乗り込ませなければならない港又は水域を強制水先区という（水先法第 35 条第 1 項、同法施行令第 4 条、第 5 条、同法施行規則第 21 条）。本誌の記載区域内にある水先区などは、次表のとおりである。

1 水先区

| 水 先 区 | 区 域 |
|---------|--------------------------|
| 八 戸 | 八戸港及び付近 |
| 釜 石 | 釜石港の区域 |
| 仙 台 湾 | 仙台塩釜港～石巻港及び付近 |
| 小 名 浜 | 小名浜港及び付近 |
| 鹿 島 | 鹿島港及び付近 |
| 東 京 湾 | 千葉県明鐘岬から 304 度に引いた線以北の区域 |
| 田 子 の 浦 | 田子の浦港の区域 |
| 清 水 | 清水港及び付近 |
| 伊勢三河湾 | 伊勢湾、三河湾、伊良湖水道及び付近 |

10 2 強制水先区及び対象船舶

| 強制水先区 | 区 域 | 対 象 船 舶 |
|---------|--|--|
| 横 浜 川 崎 | およそ京浜港横浜区 | 1 危険物積載船以外の総トン数 10,000 t 以上の船舶 2 危険物積載船は、総トン数 300 t 以上の外国船舶、国際航海に従事する総トン数 300 t 以上の日本船舶及び国際航海に従事しない総トン数 1,000 t 以上の日本船舶 |
| | およそ京浜港川崎区 | 1 危険物積載船以外の総トン数 3,000 t 以上の船舶 2 危険物積載船は、総トン数 300 t 以上の外国船舶、国際航海に従事する総トン数 300 t 以上の日本船舶及び国際航海に従事しない総トン数 1,000 t 以上の日本船舶 |
| 横 須 賀 | 第 1～3 区 | 1 総トン数 300 t 以上の外国船舶 2 国際航海に従事する総トン数 300 t 以上の日本船舶 3 国際航海に従事しない総トン数 1,000 t 以上の日本船舶 |
| 東 京 湾 | 浦賀水道航路の南口付近から以北の東京湾内。ただし、京浜港及び横須賀港の各一部を除く。 | 総トン数 10,000 t 以上の船舶 |
| 伊勢三河湾 | 伊勢湾、三河湾、伊良湖水道及び付近 | |

域（岸から 10M以内）は、0.5～1.0kn 程度の東又は西へ向かう流れがあり、ときには向岸流などの複雑な流れが発生することから、視界不良のときには警戒を要する。

(2) 大島付近では安全の許す限り、陸岸に接航し黒潮の強い逆流を避けるのがよく、流速は日によって著しく異なるが、通常距岸 2M以内に入ればやや緩む。この付近や潮岬南方では、一般に南に偏る傾向がある。

3 潮岬沖

船舶交通の安全のため、潮岬灯台南方に国際海事機関（IMO）が採択した潮岬沖推薦航路が設定され、令和 5 年 6 月 1 日 0900 から運用されている。（第 12-1 図参照）

同航路は、バーチャル AIS（仮想航路標識）により中心線の基点が表示され、同中心線の右側を航行するよう推薦するもの。

推薦航路の位置 次の 2 地点を結んだ線上（中心線）

東端：33° 25' 54" N 135° 52' 30" E

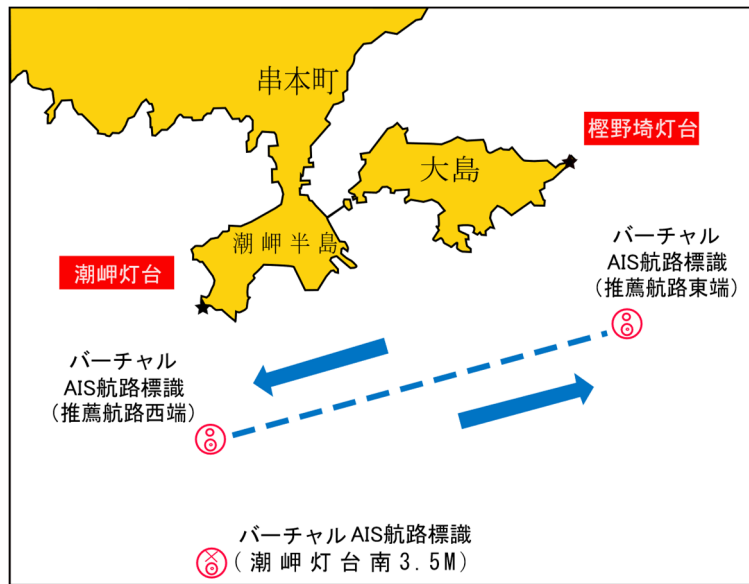
西端：33° 24' 18" N 135° 45' 18" E

東端と西端には、バーチャル AIS によりシンボルマークが表示される。

推薦航路の長さ 約 6M

潮岬灯台の南 3.5Mの地点の南側（沖合）を航行する船舶は、推薦航路を適用しない。

第 12-1 図 潮岬沖推薦航路図



4 潮岬沖～都井岬

室戸岬の南方約 20M～潮岬南方約 20Mにある 6 基の土佐黒潮牧場施設灯及び付近で操業中の漁船に注意を要する。

東 航

1 前記西航の項 1～4 の各針路を逆航する。

2 高知港へは、足摺岬の南方約 5Mの地点から、針路 028° で高知灯台へ向かう。

3 清水港へは、檜野埼灯台の南南東方約 4.5Mの地点から、針路 060° で進み、御前岩灯台 (34° 35.9' N 138° 15.6' E) の正横で針路 027° に変針し、清水灯台の東方約 2Mの地点へ至る。

入港上の注意 東日本大震災の被災により、以下のことに注意を要する。

- 1 入港する場合は、事前に港湾管理者等から港湾施設等について詳細な情報を入手すること。
- 2 公共ふ頭は一部沈下により、満潮時等に越波する場合がある。
- 3 港内で錨泊する場合、海底の堆積物に錨が絡むことを想定し注意すること。

5 港湾施設

| 名称 | 概位 | 長さ (m) | 水深 (約m) | 係船能力 (D/W×隻) | 備考 |
|----------------|-----------|--------------------------|------------|-----------------|-------------------------------|
| (須賀ふ頭) 公共ふ頭 | -11m岸壁 | 39° 16.0' N 141° 53.8' E | 190 | 10~11 | 18,000×1 クレーンがある。 |
| | -7.5m岸壁 | 39° 16.1' N 141° 53.5' E | 130 | 6.5~7 | 5,000×1 岸壁前面海域に陰悪物が散在している。 |
| | -7.5m耐震岸壁 | 39° 15.9' N 141° 53.8' E | 130 | 7~8 | 5,000×1 |
| | -4.5m岸壁 | 39° 16.0' N 141° 53.6' E | 120 | 4~4.5 | 1,000×1 |

上表のほか、会社専用の棧橋及び物揚場がある。

最大入港船舶 2014年12月23日、石炭運搬船 KASHIMA MARU (93,288 t、満載喫水 18.2m) が新日本製鉄専用岸壁南棧橋に着岸した。

10 **錨地** 大型船は、鎌崎の東方にある検疫錨地付近に錨泊するのが常である。検疫錨地の北部は、底質泥又は砂で錨かきは良いが、水路に近いので出入港船の支障とならないよう、錨地の選定には注意を要する。

第1区は、錨かきは良いが錨地が狭く、陰悪物が点在している。台風などで港内の錨泊が困難なときには、北方の山田湾か南方の大船渡港に避難できるが、両湾は定置網や養殖施設が多いので注意を要する。

危険物積載船錨地は、第2区に指定されている。

15 **台風・津波対策** 台風・津波等による海難事故を防止するため、釜石・大槌・山田地区船舶安全対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・解除等の災害防止措置を指導している。

なお、荒天時の錨泊自粛海域が(第18-1図参照)公共ふ頭周辺に設定されている。(問合せ先:釜石海上保安部)

20 海事関係官公署

| 官公署名 | 連絡先 | 官公署名 | 連絡先 |
|----------------|--------------|-----------------|------------------------------|
| 釜石海上保安部(港長) | 0193-22-3830 | 岩手県釜石沿岸広域振興局土木部 | 0193-25-2708 |
| 函館税関 釜石税関支署 | 0193-22-3010 | 仙台検疫所釜石出張所 | 仙台検疫所(本所) 022-367-8100へ連絡 |

引船・通船 引船がある。

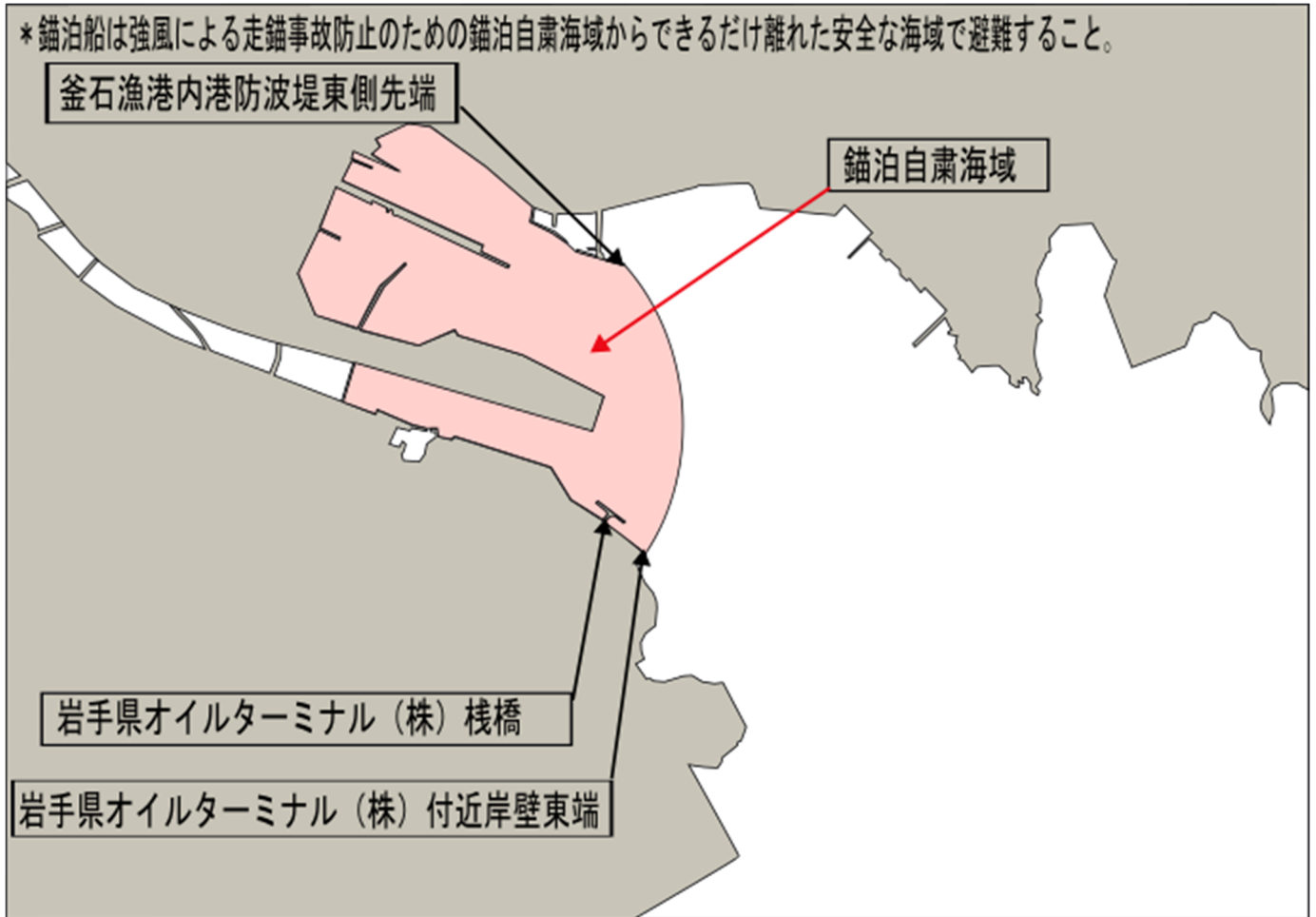
補給 清水、氷の補給ができる。給油船がある。

修理 造船所1社(上架能力200t)がある。

25 医療施設

| 名称 | 電話番号 | 備考 |
|----------|--------------|----|
| 岩手県立釜石病院 | 0193-25-2011 | |

第 18-1 図 釜石港錨泊自肅海域図



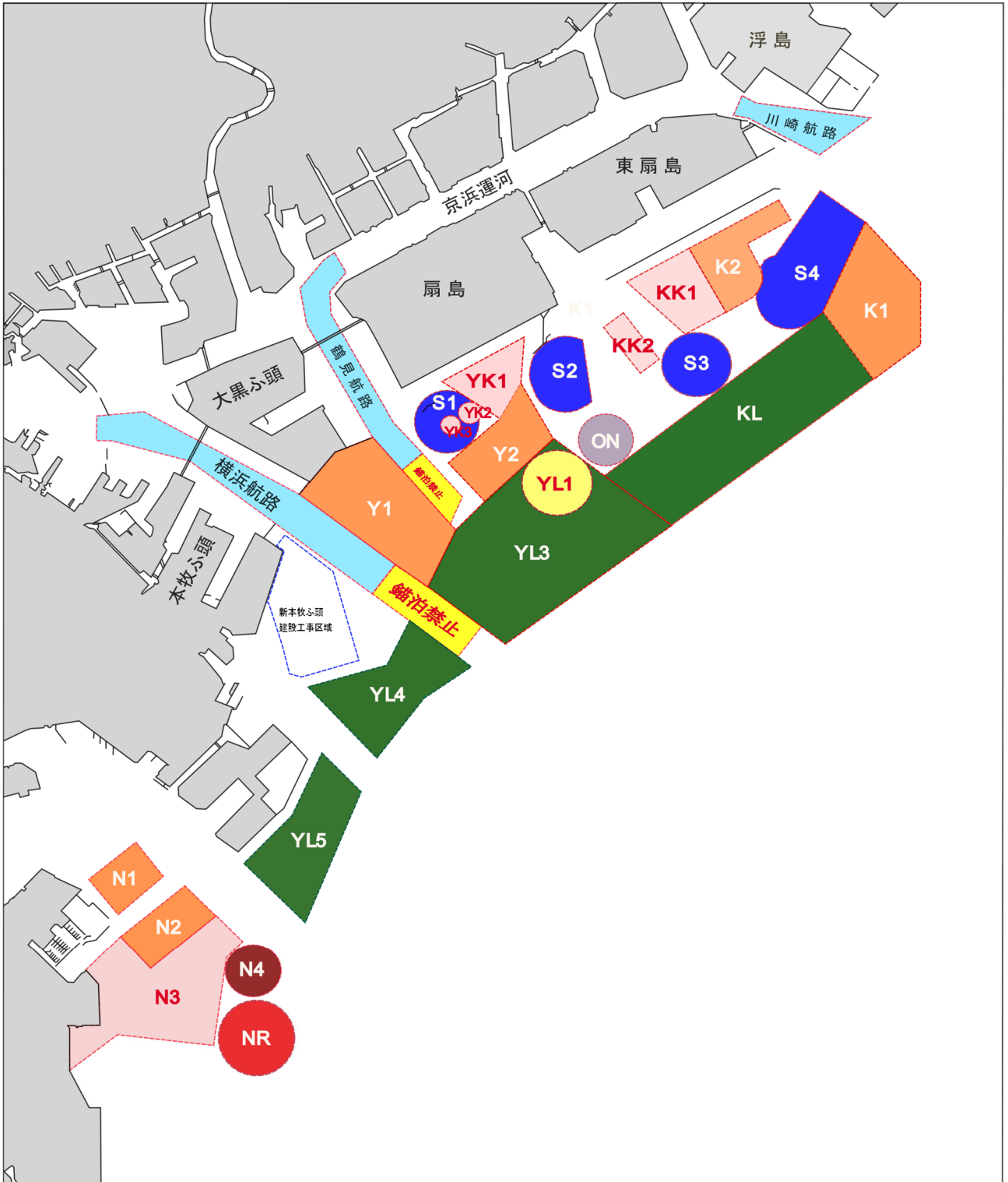
| | | | | | | |
|-----------------|--------|--------------------------|-------|---------|-----------|----------------|
| 新港ふ頭 | 5号 | 35° 27.3' N 139° 38.6' E | 202 | 7 | 10,000×1 | 在来船バース |
| | 8号 | 35° 27.4' N 139° 38.6' E | 145 | 7~8.5 | 10,000×1 | |
| | 9号 | 35° 27.4' N 139° 38.5' E | 340 | 9.5 | 70,000t×1 | |
| 山内ふ頭 | | 35° 27.9' N 139° 38.2' E | 130 | 6.5~7.5 | 5,000×1 | 在来船バース 耐震岸壁 |
| 瑞穂ふ頭岸壁 | | 35° 28.2' N 139° 39.3' E | 170 | 10 | 10,000×1 | 在来船バース |
| 出田町ふ頭 | A・B | 35° 28.6' N 139° 38.8' E | 135×2 | 6~6.5 | 5,000×2 | 在来船バース |
| | C・D | 35° 28.6' N 139° 39.0' E | 123×2 | 6~8.5 | 5,000×2 | |
| 大黒ふ頭 | C1・2 | 35° 28.1' N 139° 40.8' E | 300×2 | 12~13 | 35,000×2 | 多目的ターミナル |
| | C3 | 35° 27.5' N 139° 41.6' E | 350 | 15 | 54,500×1 | コンテナターミナル |
| | C4 | 35° 27.6' N 139° 41.8' E | 350 | 15 | 57,500×1 | |
| | L1・2 | 35° 28.2' N 139° 41.1' E | 200×2 | 10 | 15,000×2 | 外貨定期船ターミナル |
| | L3・4 | 35° 28.3' N 139° 41.4' E | 200×2 | 10 | 15,000×2 | |
| | L5~7 | 35° 28.0' N 139° 41.2' E | 200×3 | 12~12.5 | 15,000×3 | |
| | L8 | 35° 27.8' N 139° 41.6' E | 200 | 12 | 15,000×1 | 内航船バース |
| | P1・2 | 35° 27.6' N 139° 40.5' E | 130×2 | 7.5 | 5,000×2 | |
| | P3 | 35° 27.5' N 139° 40.7' E | 130 | 11.5~12 | 5,000×1 | |
| | P4 | 35° 27.4' N 139° 41.7' E | 130 | 5.5~12 | 5,000×1 | 多目的バース |
| | T1・2 | 35° 27.7' N 139° 41.4' E | 240×2 | 12 | 30,000×2 | 外貨定期船ターミナル |
| | T3~6 | 35° 27.3' N 139° 41.1' E | 185×4 | 11 | 15,000×4 | 外貨不定期船バース |
| | T7・8 | 35° 27.2' N 139° 41.4' E | 185×2 | 11 | 15,000×2 | |
| | T9 | 35° 27.4' N 139° 41.4' E | 240 | 11.5~12 | 30,000×1 | コンテナバース |
| 川崎市営ふ頭 (千鳥町) | 1号岸壁 | 35° 30.9' N 139° 45.0' E | 120 | 6 | 3,000×1 | |
| | 2号栈橋 | 35° 30.8' N 139° 45.0' E | 172 | 9 | 10,000×1 | |
| | 3号栈橋 | 35° 30.7' N 139° 45.0' E | 190 | 10 | 15,000×1 | |
| | 4号岸壁 | 35° 30.6' N 139° 45.1' E | 220 | 9.5 | 15,000×1 | |
| | 5号栈橋 | 35° 30.5' N 139° 45.2' E | 211 | 10 | 15,000×1 | |
| | 6号栈橋 | 35° 30.5' N 139° 45.3' E | 209 | 10 | 15,000×1 | |
| | 7号栈橋 | 35° 30.6' N 139° 45.4' E | 180 | 10 | 15,000×1 | |
| 東扇島岸壁 | 1・2号 | 35° 29.6' N 139° 45.6' E | 各185 | - | 15,000×2 | |
| | 3・4号 | 35° 29.6' N 139° 45.8' E | 各240 | 12 | 30,000×2 | |
| | 5・6号 | 35° 29.7' N 139° 46.1' E | 各240 | 12 | 30,000×2 | |
| | 7~9号 | 35° 29.9' N 139° 46.5' E | 各240 | 12 | 30,000×3 | |
| | 21~23号 | 35° 30.2' N 139° 45.4' E | 各130 | 7.5 | 5,000×3 | |
| | 24・25号 | 35° 30.3' N 139° 45.8' E | 各130 | 7.5 | 5,000×2 | |
| | 26~28号 | 35° 30.4' N 139° 45.9' E | 各130 | 5.5~7.5 | 5,000×3 | |
| | 29~31号 | 35° 30.4' N 139° 46.1' E | 各130 | 6~7.5 | 5,000×3 | |
| コンテナ A~D | | 35° 29.7' N 139° 45.5' E | 270 | - | 700×4 | |
| コンテナ 1号岸壁 | | 35° 29.3' N 139° 45.3' E | 431 | 14 | 50,000×1 | |

上表のほか、横浜区、川崎区の各区内に会社専用の係留施設が多数ある。

シーバース

| 名称 | 概位 | 水深 (約m) | 係船能力 (D/W) | 備考 |
|------------------|-----------------------------|------------|---------------|---|
| 川崎シーバース | 35° 28.0' N 139° 46.1' E | 28 | 315,000 | シーバース灯、レーダ反射器付大型係船浮標、半径300m円内海域には、錨鎖が延びている。 |
| 東京ガス扇島 LNGバース | 35° 27.7' N 139° 43.1' E | 15~16 | 74,000 | 長さ約410m、中央にシーバース灯(本灯)がある。本灯の北北東、南西及び北西方に副灯が3基あり、同期している。 |

第 41 図 京浜港（横浜区・川崎区）における錨地図【図の差し替え】



| 錨泊禁止区域 | |
|----------------------|--|
| 錨泊禁止区域 (京浜港横浜区第 5 区) | |
| 次の 4 地点により囲まれる区域 | |
| (1) | 35° 26′ 14″ N 139° 42′ 40″ E (横浜航路第 2 号灯標) |
| (2) | 35° 25′ 39″ N 139° 43′ 39″ E (港界上) |
| (3) | 35° 25′ 23″ N 139° 43′ 23″ E (港界上) |
| (4) | 35° 25′ 58″ N 139° 42′ 26″ E (横浜航路第 1 号灯標) |
| 錨泊禁止区域 (京浜港横浜区第 3 区) | |
| 次の 4 地点により囲まれる区域 | |
| (1) | 35° 27′ 06″ N 139° 42′ 45″ E (鶴見第 1 号灯標) |
| (2) | 35° 27′ 16″ N 139° 42′ 59″ E (鶴見第 2 号灯標) |
| (3) | 35° 26′ 52″ N 139° 43′ 26″ E |
| (4) | 35° 26′ 36″ N 139° 43′ 19″ E |

| 大型船用錨地の位置及び区域 | |
|---|---------------------------------------|
| 錨地名 | KL 大型船用 (VLCC 等以外) |
| 次の 4 地点により囲まれる区域 | |
| (1) | 35° 27′ 03″ N 139° 45′ 02″ E |
| (2) | 35° 28′ 33″ N 139° 47′ 28″ E |
| (3) | 35° 27′ 56″ N 139° 48′ 01″ E |
| (4) | 35° 26′ 36″ N 139° 45′ 47″ E |
| 錨地名 | YL1 大型船用 (VLCC 等の優先錨地 YL3 と併用) |
| 35° 26′ 59″ N 139° 44′ 29″ E の地点を中心とする半径 575m の円内 | |
| 錨地名 | YL3 大型船用 (VLCC 等以外) |
| 次の 6 地点により囲まれる区域 | |
| (1) | 35° 26′ 01″ N 139° 43′ 02″ E |
| (2) | 35° 26′ 33″ N 139° 43′ 22″ E |
| (3) | 35° 26′ 48″ N 139° 43′ 42″ E |
| (4) | 35° 27′ 23″ N 139° 44′ 27″ E |
| (5) | 35° 26′ 36″ N 139° 45′ 47″ E |
| (6) | 35° 25′ 30″ N 139° 43′ 54″ E |
| 錨地名 | YL4 大型船用 (VLCC 等以外) |
| 次の 6 地点により囲まれる区域 | |
| (1) | 35° 25′ 06″ N 139° 41′ 43″ E |
| (2) | 35° 25′ 19″ N 139° 42′ 36″ E |
| (3) | 35° 25′ 43″ N 139° 42′ 51″ E |
| (4) | 35° 25′ 17″ N 139° 43′ 32″ E |
| (5) | 35° 24′ 58″ N 139° 42′ 57″ E |
| (6) | 35° 24′ 27″ N 139° 42′ 30″ E |

| | | |
|-----------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 錨地名 | Y2 | 危険物積載タンカー以外の船用 |
| 次の 5 地点を順に結んだ線で囲まれる区域 | | |
| (1) | 35° 27' 10" N 139° 43' 17" E | (4) 35° 27' 23" N 139° 44' 27" E |
| (2) | 35° 27' 34" N 139° 43' 53" E | (5) 35° 26' 48" N 139° 43' 42" E |
| (3) | 35° 27' 54" N 139° 44' 05" E | |

| | | |
|---|-----------|---------------------------------------|
| その他の船用錨地の位置及び区域 | | |
| 錨地名 | ON | 沖荷役船用 |
| 35° 27' 22" N 139° 45' 01" E の地点を中心とする半径 450m の円内 | | |
| 錨地名 | N4 | 沖荷役船用 |
| 35° 22' 29" N 139° 41' 06" E の地点を中心とする半径 450m の円内 | | |
| 錨地名 | NR | 【錨地名修正：TK から NR】タンククリーニング船用、バンカリング等船用 |
| 35° 21' 52" N 139° 41' 08" E の地点を中心とする半径 650m の円内 | | |

| | | |
|--|------------------------------|---|
| シーバース離着岸時に利用される水域 | | |
| シーバース水域 | S1 | 東京ガス扇島 LNG バース |
| 35° 27' 32" N 139° 43' 18" E の地点を中心とする半径 520m の円内 | | |
| シーバース水域 | S2 | JERA 扇島 LNG バース |
| 次の (1) 地点から (2) 地点を順に結んだ線と 35° 28' 00" N 139° 44' 34" E の地点を中心とする 620 m の円の外周に囲まれた区域 | | |
| (1) | 35° 28' 18" N 139° 44' 46" E | (2) 35° 27' 44" N 139° 44' 52" E |
| シーバース水域 | S3 | 川崎シーバース |
| 35° 28' 01" N 139° 46' 05" E の地点を中心とする半径 600m の円内 | | |
| シーバース水域 | S4 | ENEOS 扇島東・西シーバース |
| 次の (1) 地点から (5) 地点を順に結んだ線及び (5) 地点から K2 (6) 地点までは 35° 28' 47" N 139° 47' 09" E の地点を中心とする半径 620m の円の外周並びに K2 (6) 地点から (1) 地点までは検疫錨地外周に沿った線に囲まれた区域 | | |
| (1) | 35° 28' 59" N 139° 46' 44" E | (4) 35° 29' 23" N 139° 47' 55" E |
| (2) | 35° 29' 03" N 139° 46' 56" E | (5) 35° 28' 33" N 139° 47' 26" E |
| (3) | 35° 29' 37" N 139° 47' 24" E | (6) 35° 28' 45" N 139° 47' 26" E |